

参加無料
定員150名(先着順)



宮城県
Miyagi Prefectural Government

世界防災
フォーラム

世代を超えて

伝承

一人ひとりができる伝承活動

つなぐ

震災



コーディネーター

板橋 恵子 さん
エフエム仙台 防災・減災プロデューサー

開催日時

令和5年3月12日(日) 9:40~11:20

パネリスト

阿部 任 さん
(石巻市)
震災当時高校1年
石巻市震災遺構門脇小学校
などで語り部活動を行う

駒木 結衣 さん
(ウェザーニュース)
震災当時中学校2年
気象キャスターで活躍
防災士の資格を持つ

千尋 真璃亜 さん
(山元町)
震災当時小学校3年
山元町震災遺構中浜小学校
で語り部活動を行う

小野寺 翔 さん
(南三陸町)
震災当時中学校2年
戸倉地区の郷土芸能である
鹿子踊りを復活させ、
国内外へ地域をアピール

開催場所

仙台国際センター会議棟 会議室「萩」

アクセス

地下鉄東西線・国際センター駅 徒歩1分



ライブ配信
実施予定



本イベントは、県内各地で地域の伝承活動等に取り組む若者同士の活動報告や意見交換等を通じて、震災の記憶や教訓を国内外に発信し、後世に伝えることを目指します。また、伝承の手法は多様であることを学ぶ機会も目指しています。

プログラム詳細・ライブ配信の詳細は裏面をご覧ください

お申し込み方法：FAX（022-263-9636）又はQRコードから電子申請

お名前

お住まい（市区町村）

ご所属（任意）

【お問い合わせ】 宮城県復興・危機管理部復興支援・伝承課 (TEL:022-211-2443 mail: denshod@pref.miyagi.lg.jp)

※いただいた個人情報は、セッション受付以外の目的には使用しません。また申し込みへの返答は行いませんので、当日会場までお越しください。



基調講演

第1部

- 阿部 任 さん
ディスカッションに向けて、語り部講話をいただきます。
(阿部さんの日ごろの活動をご紹介します)

パネルディスカッション

第2部

東日本大震災の発生当時、小学生、中学生、高校生だった若者が、いろいろな形で、震災の記憶や教訓を伝える活動をなされています。
ディスカッションでは、それぞれのご経験やふるさとへの思い、今の活動を支えていることなど、日ごろ感じておられることを話していただきます。
また、同世代や若い世代に向けた期待などについてもお話いただきます。

コーディネーター

パネリスト

板橋 恵子 さん



阿部 任 さん



駒木 結衣 さん



千尋 真璃亜 さん



小野寺 翔 さん



💡 若い世代の皆様へ

震災の教訓を、どう語り継ぎ、記憶として残していけるのか...。このセッションがヒントになりますよ！

同世代の皆さんが震災伝承や防災に関わる中で感じていることの共通項を探る事が出来ればうれしいです！

これからの時代に防災の大切さについてどんなふうに伝えていけるか、一緒に考えていければと思います！

自然災害は、人の力では止められない脅威です。いつか必ず起こるからこそ事前の備えを充分に！

それぞれが震災後に一歩を踏み出し、選択して進んだ今の結果が私たち自身の復興の一つの形なんです！

ライブ配信について



防災いまできること 検索

【チャンネル名】
TikTok公共政策チーム



【チャンネル名】
宮城県復興支援・伝承課



アーカイブのみ配信



「いまを発信！復興みやぎ」と検索